

戸塚原宿レジメンカフェ2024 実施報告

1. 全体概要

- 総申し込み数: 531件
- 実際の参加者数: 284名 (受講後アンケート回答者を参加者として集計)
- 全体参加率: 53.48%
- 平均理解度: 3.69/5.0
- 平均満足度: 4.19/5.0
- コメント提出数: 178件
- コメント提出率: 62.68%

2. 開催回ごとの分析

申込・参加状況

開催日	テーマ	申込数	参加数	参加率
2024/05/30	診療報酬・調剤報酬改定から考える「がん薬物療法における薬剤師の役割」	98	55	56.12%
2024/06/25	最近登場した新しい抗がん薬にまつわる話など	80	42	52.50%
2024/07/22	タキサン系抗がん薬のレジメン／薬学的介入	76	36	47.37%
2024/08/22	膀胱癌で使用するレジメンを学ぼう	63	36	57.14%
2024/09/18	抗がん剤治療で起こる「便秘？」の対応	55	28	50.91%
2024/12/19	がん薬物治療の副作用対策:「アピアランスケア」	57	32	56.14%
2025/01/22	新たに承認された抗がん薬とレジメンについて	43	23	53.49%
2025/03/25	当院の新規登録レジメン／学術大会トピックス	59	32	54.24%

参加者評価(理解度・満足度)コメント記載率

開催日	テーマ	理解度	満足度	コメント率
2024/05/30	診療報酬・調剤報酬改定から考える「がん薬物療法における薬剤師の役割」	3.8	4.02	49.09%
2024/06/25	最近登場した新しい抗がん薬にまつわる話など	3.36	4.21	66.67%
2024/07/22	タキサン系抗がん薬のレジメン／薬学的介入	3.81	4.25	72.22%
2024/08/22	膀胱癌で使用するレジメンを学ぼう	3.67	4.19	52.78%
2024/09/18	抗がん剤治療で起こる「便秘？」の対応	3.82	4.18	75.00%
2024/12/19	がん薬物治療の副作用対策:「アピアランスケア」	4.09	4.31	71.88%
2025/01/22	新たに承認された抗がん薬とレジメンについて	3.52	4.17	65.22%
2025/03/25	当院の新規登録レジメン／学術大会トピックス	3.44	4.25	59.38%

特徴的な点:

- 初回(5月30日)の申込数が最多で、徐々に減少傾向

- 参加率は全回を通して約50%前後と安定
- 最も高評価だったのは12月のアピランスケアテーマ(理解度4.09、満足度4.31)
- コメント率は便秘対応(9月)とタキサン系(7月)のテーマで高い

3. 参加者の経験年数分析(免許番号による)

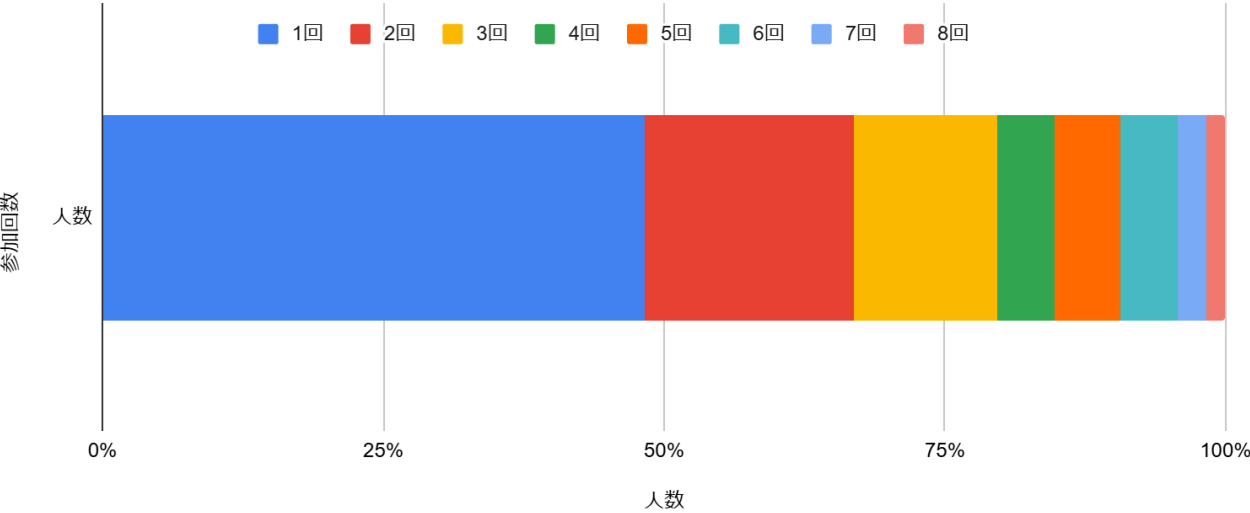
開催日	免許番号	人数	割合	理解度	満足度	コメント率
1	100000～199999	22	7.75%	3.64	4.18	77.27%
2	200000～299999	61	21.48%	3.52	3.98	63.93%
3	300000～399999	98	34.51%	3.77	4.27	73.47%
4	400000～499999	74	26.06%	3.77	4.31	55.41%
5	500000～	29	10.21%	3.62	4.03	31.03%

特徴的な点:

- 30万番台の薬剤師の参加が最も多く(34.51%)
- 30万台と40万台の薬剤師は理解度・満足度共に高い評価
- 最も経験豊富な10万番台はコメント率が最も高い(77.27%)
- 最も若い50万番台はコメント率が最も低い(31.03%)

4. 参加回数分析

参加回数の内訳



特徴的な点:

- 全8回中5回以上参加したリピーターは18名(約9%)
- 全回参加した熱心な参加者が2名

5. 地域別分析

都道府県別参加状況(上位5都道府県):

順位	都道府県	申込数	参加数	参加率	ユニーク参加者数
1	神奈川県 (横浜市・鎌倉市・藤沢市)	222	133	59.91%	47
2	東京都	40	25	62.50%	9
3	兵庫県	27	17	62.96%	4
4	神奈川県(その他)	29	17	58.62%	11
5	埼玉県	28	15	53.57%	5
6	大阪府	23	12	52.17%	6
7	富山県	13	11	84.62%	4
8	千葉県	20	8	40.00%	4
9	茨城県	8	8	100.00%	2
10	岐阜県	13	6	46.15%	4

地域分布の特徴

1. 神奈川県の圧倒的な参加数:
 - 神奈川県全体(通常的神奈川県と横浜市・鎌倉市・藤沢市の合計)からの参加が全体の約53%(150/284)を占め、開催地域の強みが顕著に表れています。
 - ユニーク参加者数も58名と多く、神奈川県内の薬剤師への浸透が進んでいることがわかります。
2. 広域からの参加:
 - 開催地域に加え、東京都(25件)、兵庫県(17件)、埼玉県(15件)、大阪府(12件)など、全国各地からの参加があり、オンライン形式のメリットが活かされています。
 - 北は北海道から南は沖縄県まで、全国38都道府県からの申し込みがあり、地理的制約を超えた広がりを見せています。

6. コメント分析(コメント分析詳細は別紙)

キーワード出現頻度:

- 「ありがとう」: 81回(45.51%)
- 「勉強」: 63回(35.39%)
- 「参考」: 26回(14.61%)
- 「理解」: 11回(6.18%)
- 「わかりやすい」「難しい」: 各5回(2.81%)

7. 成果

1. 全国的な普及と高い満足度:
 - 全国34都道府県から参加があり、オンライン開催の強みを活かしている
 - 満足度が一貫して4.0以上と高評価
2. 幅広い経験年数層への訴求:
 - 10万台から50万台まで幅広い経験層の薬剤師から支持
 - 特に中堅層(30万台)の参加が多く、実務応用に積極的

3. 継続的参加者の存在:

- 約9%が5回以上参加するリピーターとなっており、信頼性の高さを示す
- 全8回参加の熱心な参加者が2名存在